

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

⑫ Int. Cl.³
F 04 C 18/02
F 01 C 1/02

識別記号

庁内整理番号
8210—3H
7031—3G

⑬ 公開 昭和59年(1984)9月22日

審査請求 有

(全 3 頁)

⑭ 旋回ピストン式流体装置の回転阻止機構

⑮ 考 案 者 菊池泰夫

伊勢崎市安堀町90—1

⑯ 実 願 昭58—38109

⑰ 出 願 人 サンデン株式会社

⑱ 出 願 昭58(1983)3月15日

伊勢崎市寿町20番地

⑲ 実用新案登録請求の範囲

予め設定された半径の円軌道を描くように駆動されるべき可動部材と、該可動部材に上記円軌道運動を与えるために上記可動部材と結合された駆動機構と、上記可動部材の円軌道運動の間上記可動部材の回転を阻止する機構とを含む旋回ピストン式流体装置において、上記回転阻止機構は、上記駆動機構を支承・固定している固定部材にC形ピンによつて固定された第1のリングと、該第1のリングとの間にわずかな隙間ができるように上記可動部材にC形ピンによつて固定された第2のリングとを含み、両リング上に穿孔された複数の円形ポケットとの間に挟持した軸受け素子によつて回転を防いでいるとともに、各リングを固定するC形ピンの挿入端部には折り返し部を形成したことを特徴とする旋回ピストン式流体装置の回転阻止機構。

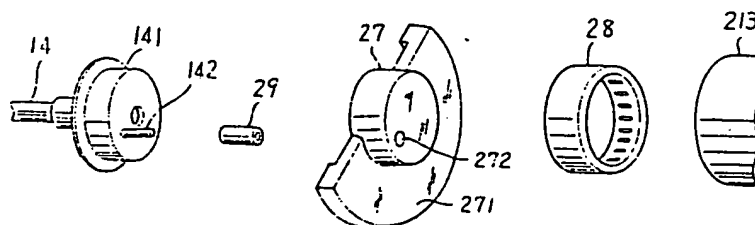
図面の簡単な説明

第1図は、本考案が適用されるスクロール型圧

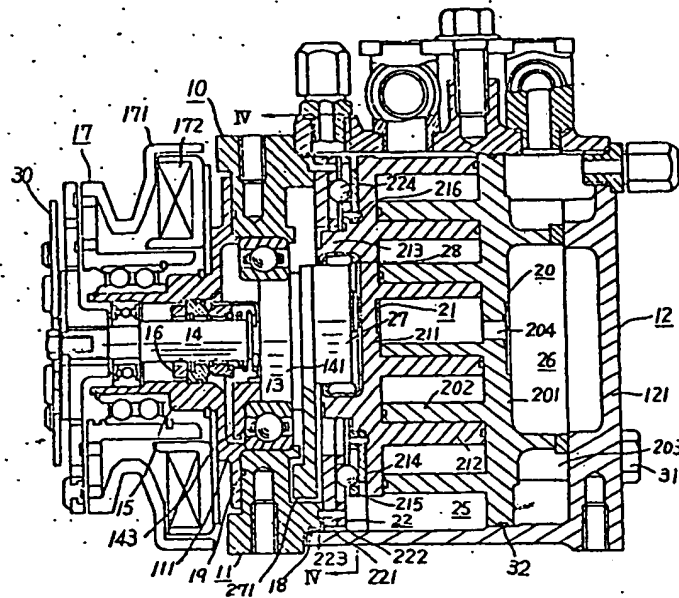
縮機の縦断面図、第2図はそのうちの駆動機構の分解斜視図、第3図はスラストベアリングを兼ねた回転阻止機構の分解斜視図、第4図は回転阻止の原理を説明するために可動リング及び固定リングとボール素子との関係を第1図のIV—IV線断面図で示した図、第5図は可動リング及び固定リングの固定構造の別の従来例を示す断面図、第6図は第5図に用いられているリングに設けられたピン孔形状を説明するための断面図、第7図は本考案の実施例によつて固定リング及び可動リングを固定した構造を説明するための断面図、第8図は第7図で用いたピンの断面図、第9図は本考案の別の実施例に第8図に示したピンと一語に用いられる圧入ピンの側面図である。

10…圧縮機ハウジング、11…フロントエンドプレート、12…カップ状部分、20…固定スクロール、21…可動スクロール、22…回転阻止機構、214…可動レース、215…可動リング、23…ピン、24…圧入ピン。

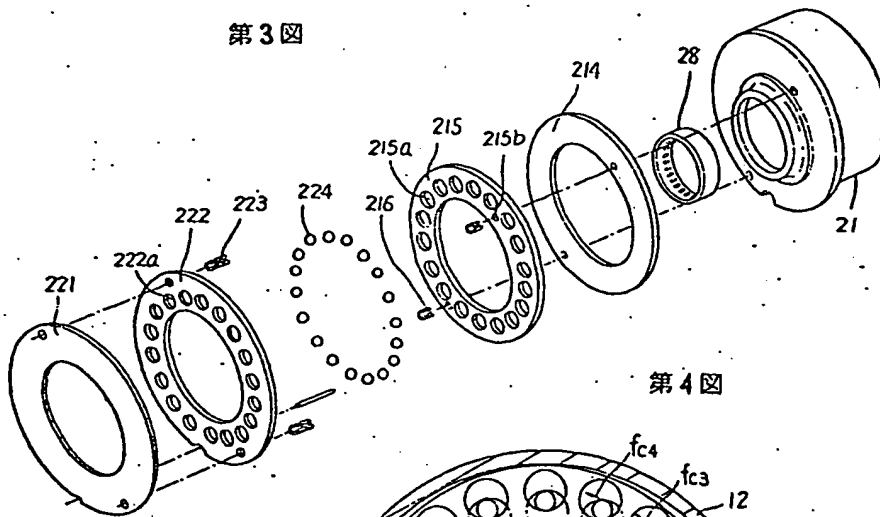
第2図



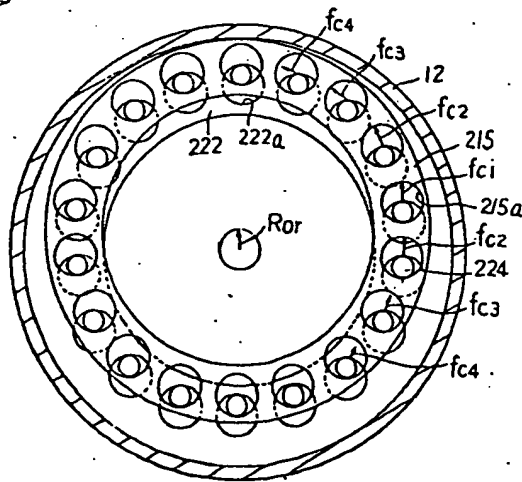
第1図



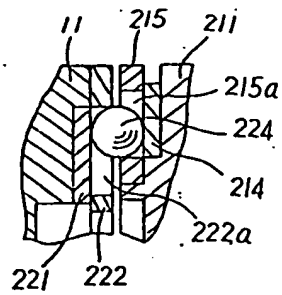
第3図



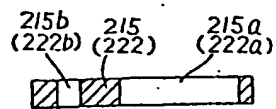
第4図



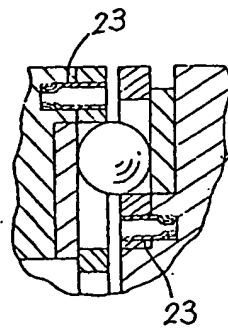
第5図



第6図



第7図



第8図

第9図

